

平成 27 年 8 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日までに 外来化学療法室にて抗がん剤治療を受けた患者さん方へ

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

外来化学療法室における抗がん剤治療に対する疑義照会内容の分析

【研究背景・目的】

外来にて抗がん剤治療を受ける患者さんは、医師による診察を受け、その日の健康状態や血液検査データなどに問題がなければ治療確定となり、外来化学療法室にて抗がん剤治療を受けます。外来化学療法室に待機している薬剤師は、投与確定のオーダーを確認すると、患者さん毎の薬剤の投与歴やレジメン^{*1}、カルテへの記載に基づき薬剤の投与量や休薬期間^{*2}、副作用を予防・軽減する薬剤の用法用量、血液・尿検査値の確認等を行い、処方に不明点や疑問点がある場合には疑義照会^{*3}を行っています。本研究は、外来化学療法室にて確定オーダーされた抗がん剤処方に対する疑義照会の現状を把握することを目的として調査を行いました。

*1: レジメンとは、薬剤の投与量や投与スケジュール等の計画のことです。

*2: 休薬期間とは、薬剤の投与をお休みする期間のことです。

*3: 疑義照会とは、処方内容に疑問点等がある場合に、薬剤師が医師へ問い合わせをすることです。

【研究期間】

この研究は、平成 29 年 2 月 21 日から平成 29 年 3 月 19 日までです。

【研究対象】

- ・対象者数 : 121 名
- ・対象期間 : 平成 27 年 8 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日まで。
- ・対象者 : 飯塚病院の外来化学療法室で抗がん剤治療を受けた患者さんの中から疑義照会を行った方。
- ・取得情報 : 投与量、休薬期間、検査値・検査オーダー、支持薬、アレルギー、溶解液・投与方法、処方漏れ、その他、以上の 8 項目。

【研究方法】

飯塚病院の外来化学療法室で抗がん剤治療を受けた患者さんの処方のうち、薬剤師が疑義照会を行った処方について、次のような点から過去に遡り分析を行いました。

※血液検査データ、カルテに記録されている経過。

【研究対象となる患者さんへの利益・不利益】

利益：本研究により対象者が直接受けることができる利益はありません。しかし、本研究の目的とするところが明らかになると、将来、抗がん剤治療中の患者さんへ薬剤師の支援方法が明確となり、社会的な利益につながるものと考えられ、より効果的な治療を開始できる可能性があります。

不利益：本研究は通常の診療により得られた情報のみを用いる研究であり、収集したデータに関しては、匿名化を行って使用しますので、患者さんご本人への直接的な不利益が生じることはありません。

【利益相反について】

本研究は飯塚病院薬剤部の自主研究として実施するものであり、企業やその他、外部からの資金提供はありません。しかしながら、研究に参加する職員のなかには、この研究以外において外部から研究資金、講演会講師料、旅費等を受けている者もいます。この研究は「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」に基づき飯塚病院倫理委員会の承認を受けて適正に行われます。資金の提供があったとしてもそれが研究の結果に影響を及ぼすことはありません。研究資金が必要な場合は、飯塚病院の研究費、もしくは研究者らの費用で賄われます。

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 薬剤部 北村 真奈美

研究分担者：飯塚病院 薬剤部 阪口 恵美、三好 康介、小田 怜史、梅田 勇一、
荒木 哲也、金澤 康範

ih 飯塚病院

innovate and evolve

【問い合わせ先】

〒820-8505

福岡県飯塚市芳雄町 3-83

飯塚病院 薬剤部 北村 真奈美

TEL : 0948-22-3800 (代表)